

ご挨拶

日本生理人類学会第84回大会
大会長 前田 享史

日本生理人類学会の会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。この度、第84回大会を開催させていただき運びとなりました。福岡では過去にすでに11回の大会が開催されており、今回で12回目となります。最後に開催されたのは2018年6月の第77回大会（樋口重和大会長）ですので、5年ぶり（7大会ぶり）の福岡での開催となります。

今大会では、初日の6月16日・金曜日に行われるフロンティアミーティングに始まり、2つのシンポジウム、一般口演、ポスター発表、懇親会を対面で開催いたします。

2日目の6月17日・土曜日には、会長発案の学会企画シンポジウム「人工知能と生理人類学」が行われます。近年、ChatGPTなどに活用されている人工知能は日常生活に身近なものとなってきています。一方で、5月30日には、人工知能が人類に絶滅をもたらすリスクを考慮すべきだとする共同声明が発表されています。今後、人工知能は人類の生活にどのように関わっていくのでしょうか？人工知能が欠かせない社会における生理人類学の役割は何でしょうか？このシンポジウムを通じて、これらのことを考えるきっかけになれば幸いです。

3日目の6月18日・日曜日にはシンポジウム「ストレスを考える」が行われます。このシンポジウムは第18回人類学関連学会協議会・合同シンポジウムとして、日本人類学会、日本文化人類学会、日本民俗学会、日本霊長類学会、日本生理人類学会から、「ストレス」をテーマにご講演いただきます。総合的な人類学の視点から「ストレス」を見つめなおすことにつながれば幸いです。

4大会ぶりに完全対面開催とした今大会は、一般口演22演題、ポスター発表37演題と多くの演題が集まりました。また、大会初日にはフロンティアミーティング、大会2日目（6/17 土曜日）には懇親会も開催いたします。コロナ禍でのオンライン開催やハイブリッド開催では高い利便性や移動を必要としないなどの良さがあると思いますが、対面開催では、顔をリアルで見ながら複数人数で議論することで生じる相乗効果や懇親会での親睦など、オンラインでは味わえない良さがあると思います。対面での活発な議論や交流が行われることで、本大会が皆様にとって新しい発見と出会いの場になり、記憶に残る大会になることを期待しています。スタッフ一同、会場にて皆様にお会いできます事、楽しみにしております。

【お知らせ】

会 場： [九州大学 西新プラザ](#)（福岡市早良区西新2-16-23）

会 期： 2023年6月16日（金）・17日（土）・18日（日）

大会参加費：

	早期支払い	通常支払
正会員	8,000円	9,000円
非会員（学生の身分を有しない方）	9,000円	10,000円
学生会員	3,000円	4,000円
学生非会員	4,000円	5,000円

参加登録に関する注意事項：

- ・参加登録の前に参加費のお支払いが必要です。また、振込手数料をご負担ください。
- ・大会当日の参加登録および参加費のお支払いは受け付けられません。

フロンティアミーティング（FM）について：

- ・フロンティアミーティングの発表概要の掲載はありません。
- ・大会へ参加される方は、FMへの参加登録が済んでいるとみなしております。
- ・大会に参加せず、FMのみに参加される場合は、大会ウェブサイト（<https://jspa.net/congress84>）から登録をお願いします。参加費は無料です。FMの参加登録締切は6月15日（木）17時です。
- ・FM1～3とは大会議室で、FM4～5 中会議室の平行で開催されます。

概要集：

- ・今大会では概要集の冊子版は作成せず、電子版（PDFファイル）のみとします。
- ・本大会概要集に掲載された概要の著作権は、発表者に帰属します。

懇親会：

- ・日時：6月17日（土） 18：00～
- ・会場：マンマミーア（福岡市早良区百道浜2丁目902-1 マリゾンB 棟1F）
- ・アクセス：<https://mamma-mia-fukuoka.com/access/>
- ・参加費：6,000円
- ・事前申し込みのみの受付となります。会場内へは必ず参加証をつけてご入場ください。

一般口演の発表および座長の要領：

- ・発表7分、質疑応答4分です。6分で1鈴、7分で2鈴、11分で3鈴を鳴らします。発表は時間厳守にてお願いします。
- ・大会事務局が準備するPCを使ってご発表ください。Windows（OS:Windows 10）のPCにPower Point 365をインストールしています。発表されるセッションの開始15分前までに発表用ファイルをUSBメモリに入れ

て受付にお持ちください。受付にてファイルのコピーを済ませ、内容を確認してください。

- ・ファイル受付は1日目、2日目ともに9:00から開始します。ファイル名にはセッション番号と発表順番を記載下さい。例) 01-3 西村九州大
- ・利益相反がある場合は発表スライド内でその旨を明示してください。

ポスターの発表要領:

- ・発表者はフラッシュトークとポスター前討論の両方に出席してください。

<フラッシュトーク>

- ・大会議室にて研究内容を1分間で説明してください。発表を開始して1分経過したら自動で次の発表者のスライドに切り替わるフラッシュプレゼンテーション方式で実施します。
- ・パワーポイント等で横スライド(A4横)にて作成し、PDFに変換し締め切りまでにお送りください。ファイル名の先頭には、採択されたポスター番号を付加願います。(例) P-01 西村九州大
- ・フラッシュトーク用PDFの提出〆切は6月9日(金)です。
- ・提出先 jspa84@jspa.net

<ポスター前討論>

- ・下記の時間中はポスターの前に待機し、質疑応答を行ってください。
- ・6月17日(大会1日目) ポスター番号奇数(15:55~16:35) ポスター番号偶数(16:35~17:15)
- ・ポスターはA1判の大きさ(横59.4×縦84.1cm)を目安に作成し、所定の場所に掲示してください。横幅70cmの段ボール製の貼付パネルと、ポスターを貼り付けるためのテープ類を大会事務局が準備します。
- ・全てのポスター発表者は、以下の時間帯にポスターの掲示と回収をしてください。張り替えはありません。
- ・ポスター掲示:6月16日13:00以降提示可能
- ・ポスター回収:6月18日(大会最終日)17:00~17:15 ※これ以降に掲示されたままのポスターは事務局で処分します。
- ・利益相反がある場合はポスター内にその旨を明示してください。

特別講演及びシンポジウム発表者の皆様へ:

大会事務局が準備するPCはWindows(OS:Windows10)です。Power Point 365が使用できます。このPCを使用される場合は、発表されるセッションの開始15分前までに発表用ファイルをUSBメモリに入れて受付にお持ちください。受付にてファイルのコピーを済ませ、内容を確認してください。

ご自身のPCを使った発表も可能です。その場合は、演台上で直接接続をしてください。アナログ式のVGA(D-Sub15ピン)とデジタル式のHDMIでの接続が可能ですが、それ以外のコネクタが必要な場合はご持参ください。シンポジウム前の休憩時間などを利用して、試写をお済ませください。

その他

- ・会場にFree-Wifiはございません。Eduroamはありますので、大学関係者の皆様は各機関で事前に登録の上、ご利用ください。
- ・休憩スペース以外での飲食は禁止となります。
- ・育児世代支援のために、3F和室を開放しておりますのでご利用ください。
- ・会場2Fエレベーター降りて左奥にクロークを準備しておりますので、ご利用ください。

【大会日程】

6月16日(金) 日本生理人類学会第84回大会フロンティアミーティング

12:00～	開場
会場1 (大会議室) 13:00～14:00	FM1 シンポジウム「AIと愛」 司会・趣旨説明：湯田 恵美 (生体情報工学、東北大学) パネリスト (1)：井上 敦志 (計算機科学者、三重大学) パネリスト (2)：工藤 卓 (生命工学者、関西学院大学)
会場1 (大会議室) 14:15～15:45	FM2 シンポジウム「産熱と断熱—その多様性と遺伝的背景—」 司会・趣旨説明：西村 貴孝 (九州大学) 講演1 石田 悠華 (東京大学) 褐色脂肪組織活性の多様性に関与する遺伝子多型の探索—東アジア人の寒冷適応進化の解明に向けて— 講演2 安河内 彦輝 (関西医科大学) 寒冷曝露時の生理反応に関連する遺伝要因の探索
会場1 (大会議室) 16:40～18:30	FM3 第37回若手研究者講演会 第1部 司会：赤間 章英 (前橋工科大学) 大橋 路弘 (九州大学) ヒト概日リズムの位相変位の個人差 中本 五鈴 (東北大学) 看護分野における実験室研究とコホート研究 第2部 司会：樋口 重和 (九州大学) 池上 啓介 (九州大学) 哺乳類における松果体による生理機能制御
会場2 (中会議室) 13:00～14:00	FM4 講演会「工学部における生理人類学視点のものづくり授業の紹介」 講演1 下村 義弘 (千葉大学) 「ものづくり生理人類学」 講演2 古坐 優磨 (千葉大学) 「筋活動可視化のための筋音図測定デバイスの開発」
会場2 (中会議室) 15:00～16:30	FM5 シンポジウム「ヒトが豊かに生きられる環境を目指して—環境と個人に対する生理人類学的検討の試み—」 司会・趣旨説明：北村 真吾 (国立精神・神経医療研究センター) 講演1 高倉 潤也 (国立環境研究所) 「これからの地球環境の変化と個人の生活環境」 講演2 江藤 太亮 (国立精神・神経医療研究センター) 「多様な個人が豊かに生きられる光環境を考える」 講演3 江頭 優佳 (国立精神・神経医療研究センター) 「認知の多様性を考慮した適応的な環境構築の可能性」

※フロンティアミーティングの発表概要の掲載はありません

6月17日(土)

9:00～	受付開始
9:25～9:30	開会
9:30～10:30	口演セッション1 座長：黒川 修行 (宮城教育大学)
10:45～11:45	口頭セッション2 座長：若林 斉 (北海道大学)
11:45～13:00	昼休み・資格認定委員会
13:00～15:00	シンポジウム1 (学会企画) 「人工知能と生理人類学」 座長：早野 順一郎 (名古屋市立大学), 岩永 光一 (千葉大学) 楠 正憲 (デジタル庁) 「AI と情報」 山崎 洋一 (神奈川工科大学創造工学部) 「AI とロボット」 中島 秀之 (札幌市立大学) 「AI と人類」
15:10～15:55	ポスターセッション・フラッシュトーク 座長：江藤 太亮 (国立精神・神経医療研究センター) 本井 碧 (精華女子短期大学)
15:55～17:15	ポスターセッション・自由討論 奇数番号 (15:55～16:35) 偶数番号 (16:35～17:15)
18:00～20:30	懇親会

関連会議

6月17日(土) 11:45～13:00 資格認定委員会 西新プラザ3階・和室

6月18日(日)

9:00～	受付開始
9:20～10:08	口演セッション3 座長：福田 裕美（北九州市立大学）
10:23～11:11	口頭セッション4 座長：跡見 友章（杏林大学）
11:15～11:50	学会各賞授賞式
11:50～13:00	昼休み
13:00～13:48	口頭セッション5 座長：富田 義人（東京保健医療専門職大学）
14:00～17:00	シンポジウム2（人類学関連学会協議会合同公開シンポジウム） 「ストレスを考える」 座長：安河内 朗（日本生理人類学会会長・九州大学） 石橋 圭太（日本生理人類学会・千葉大学） 「重力ストレスを考える」 澤田 純明（日本人類学会・新潟医療福祉大学） 「ストレスマーカーから探る古代の人々の健康状態」 北中 淳子（日本文化人類学会・慶應義塾大学） 「ストレスの歴史と文化：医療人類学的視点から」 宮内 貴久（日本民俗学会・お茶の水女子大学） 「葬儀の簡素化からみた人付き合い」 藤田 志歩（日本霊長類学会・鹿児島大学） 「野生霊長類のストレスを測る」
17:00～17:05	閉会

【プログラム】

大会1日目 6月17日 (土)

開会 9:25

口演セッション1 9:30~10:30 大会議室

座長: 黒川 修行 (宮城教育大学)

O1-1 学校教室の内装木質化が教室の温熱環境および中学生の生理・心理に与える影響

坂口大和^{*1}, 斎藤幸恵^{*1}, 恒次祐子^{*1}

^{*1} 東京大学大学院農学生命科学研究科

O1-2 ビール飲用における温熱環境の影響について

濱村航明^{*1}, 大橋巧弥^{*2}

^{*1} ダイキン工業株式会社, ^{*2} アサヒビール株式会社

O1-3 漸減するテンポの触覚と聴覚刺激の組み合わせが急性ストレスに与える効果

本川智紀^{*1,2}, 加藤朋美^{*2}

^{*1} ポーラ化成工業 フロンティア研究所, ^{*2} 東北大学大学院 医学系研究科

O1-4 登山経験が低圧環境での運動負荷に対する生理応答に与える影響

河野陽介^{*1}, 中林暉裕^{*2}, 松尾沙也加^{*2}, 前田享史^{*3} 西村貴孝^{*3}

^{*1} 九州大学大学院芸術工学府, ^{*2} 九州大学芸術工学部, ^{*3} 九州大学大学院芸術工学研究院

O1-5 高齢者における動脈硬化と身長低下の関係

清水悠路^{*1,2}, 有馬和彦^{*1}, 野口優子^{*1}, 宮田潤^{*1}, 山梨啓友^{*1}, 川尻真也^{*1}, 前田隆浩^{*1}

^{*1} 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科, ^{*2} 大阪健康安全基盤研究所

口演セッション2 10:45~11:45 大会議室

座長: 若林 斉 (北海道大学)

O2-1 寒冷血管反応の観察方法に関する研究

芹沢凧沙^{*1}, 鈴木花歩^{*1}, 那須ゆうみ^{*1}, 山崎和彦^{*1}

^{*1} 実践女子大学生活科学部生理人類学研究室

O2-2 日本人の寒冷血管拡張反応時における皮膚血流調節因子のゲノムワイド関連解析

安河内彦輝^{*1}, 世良俊博^{*2}, 河野太喜^{*3}, 中島悠輔^{*3}, 上杉武蔵^{*4}, 工藤奨^{*2}

^{*1} 関西医科大学附属生命医学研究所ゲノム解析部門, ^{*2} 九州大学大学院工学研究院, ^{*3} 九州大学大学院工学府, ^{*4} 九州大学工学部

O2-3 Subjective thermal perceptions and autonomic thermoregulatory responses preceding thermal

behavior initiation during low-intensity cycling exercise in the humid heat.

SEDILLA Keneth Bautista*¹, Takafumi MAEDA*¹

*¹Department of Human Life Design and Science, Faculty of Design, Kyushu University

O2-4 冷却枕の温度が睡眠に及ぼす影響

水野一枝*¹, 鈴木春佳*¹, 土屋哲平*², 佐古井智紀*², 水野康*³

*¹和洋大学家政学部, *²信州大学学術研究院繊維学系, *³東北福祉大学教育学部

O2-5 Overview of Sleep Quality Based on Shift Rotation in Indonesian Coal Mining Services Company

Stevan Deby Anbiya M. SUNARNO*¹, Keneth B. SEDILLA*², Takayuki NISHIMURA*², Takafumi MAEDA*²

*¹Human Science International Course, Graduate School of Design, Kyushu University,

*²Department of Human Life Design and Science, Faculty of Design, Kyushu University

シンポジウム 1

13:00~15:00

大会議室

座長：早野 順一郎 (名古屋市立大学), 岩永 光一 (千葉大学)

テーマ「人工知能と生理人類学」

S1-1 楠 正憲 (デジタル庁)

AI と情報

S1-2 山崎 洋一 (神奈川工科大学創造工学部)

AI とロボット

S1-3 中島 秀之 (札幌市立大学)

AI と人類

ポスターセッション

15:10~17:15

フラッシュトーク

15:10~15:55 大会議室

ポスター前討論 (奇数演題)

15:55~16:35

ポスター前討論 (偶数演題)

16:35~17:15

フラッシュトーク座長：江藤 太亮 (国立精神・神経医療研究センター)

本井 碧 (精華女子短期大学)

P01 力学刺激下における変異型 PKC α の時空間分布計測

楊井威信*¹, 佐々木沙織*², 世良俊博*³, 工藤奨*²

*¹九州大学大学院工学府機械工学専攻, *²九州大学大学院工学研究院機械工学部門, *³東京理科大学
先進工学部機能デザイン工学科

P02 乳幼児身長発育の国際比較

田中望*¹, 藤井勝紀*², 可兒勇樹*³, 武山祐樹*²

*¹東海学園大学, *²愛知工業大学, *³大阪成蹊大学

P03 東日本大震災後の身体発育への影響について

渡部琢也*¹, 藤井勝紀*²

*1 会津大学短期大学部, *2 愛知工業大学

- P04 BMI に対する体脂肪率のシグモイドシェイプ構図
藤井勝紀*1, 田中望*2, 武山祐樹*3, 可兒勇樹*4
*1 愛知工業大学, *2 東海学園大学, *3 愛知工業大学, *4 大坂成蹊大学
- P05 日本列島におけるベルクマンの法則の適用可能性を探る —ヒトの体格からの判断による—
可兒勇樹*1, 藤井勝紀*2, 田中望*3, 武山祐樹*2
*1 大阪成蹊大学, *2 愛知工業大学, *3 東海学園大学
- P06 Python を用いた表面筋電図データ解析 —歩行時の筋活動を例に—
山本理恵子*1, 白石俊彦*2, 伊丹涉*3, 河端将司*4, 岩田啓芳*1, 山内太郎*1*5
*1 北海道大学環境健康科学研究教育センター, *2 横浜国立大学大学院環境情報研究院, *3 横浜国立大学環境情報学府, *4 北里大学医療衛生学部理学療法学専攻, *5 北海道大学大学院保健科学研究院
- P07 加齢と運動習慣が歩容変量の変動性と経済速度に及ぼす影響
安陪大治郎*1, 堀内雅弘*2, 斉藤輝*1, 本山清喬*1, 田代雄大*3
*1 九州産業大学健康・スポーツ科学センター, *2 鹿屋体育大学, *3 CNP Design
- P08 高齢男性における心理的苦痛と筋量との関連
中島弘貴*1, 水上諭*1, 有馬和彦*1, 大川内鉄二*2, 古藤世梨奈*1, 富田義人*3, 安部恵代*2, 青柳潔*1
*1 長崎大学大学院医歯薬総合研究科公衆衛生学分野, *2 西九州大学, *3 東京保健医療専門職大学
- P09 中高年女性における海綿骨骨密度低下・皮質骨厚低下と身体機能との関連
水上諭*1, 有馬和彦*1, 中島弘貴*1, 古藤世梨奈*1, 富田義人*2, 大川内鉄二*3, 安部恵代*3,
草野洋介*3, 金ヶ江光生*4, 青柳潔*1
*1 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野, *2 東京保健医療専門職大学, *3 西九州大学,
*4 医療法人祥仁会 西諫早病院
- P10 不安定なバランス課題に対する観察と運動イメージ実施時の脳活動 : fMRI 研究
跡見友章*1, 池田悠稀*1, 久原重英*1, 小林邦典*1, 遠藤祐太*1, 菊池吉晃*2
*1 杏林大学保健学部, *2 東京都立大学
- P11 姿勢保持クッションが骨盤傾斜角および腰椎前弯角に及ぼす影響
青木真理*1, 野々村琢人*1, 大野直樹*2, 宮地利明*2
*1 西川株式会社 日本睡眠科学研究所, *2 金沢大学医薬保健研究域保健学
- P12 大学生の座位行動について一季節による違い—
黒川修行*1, 宗像康誠*2, 小田嶋聖斗*2, 坂麻皓*2
*1 宮城教育大学教職大学院, *2 宮城教育大学教育学部中等教育教員養成課程保健体育専攻

- P13 同一clo値の衣服着用時における温冷感の違い
那須ゆうみ^{*1}, 古佐原満菜^{*1}, 瀧本琳^{*1}, 山崎和彦^{*1}
^{*1} 実践女子大学生活科学部生理人類学研究室
- P14 赤ビーツ摂取が軽度寒冷環境における末梢循環と脳活動に及ぼす影響
堀畑実希^{*1}, 中村駿太郎^{*1}, 志村虎太郎^{*1}, 若林斉^{*1}
^{*1} 北海道大学大学院工学院
- P15 Heat strain estimation based on non-invasive parameters: modification of physiological strain index
Joo-Young Lee^{*1}, Dahee Jung^{*2}
^{*1}Department of Fashion and Textiles, Seoul National University, ^{*2}Research Institute of Human Ecology, Seoul National University
- P16 高体温および認知タスクの複合負荷が暑熱環境下における鍛錬者の有酸素性運動能力および精神性疲労に及ぼす影響
内藤貴司^{*1}, 斎藤辰哉^{*2}, 森永浩嗣^{*3}, 枝伸彦^{*4}
^{*1} 北海学園大学法学部, ^{*2} 鳥取大学医学部, ^{*3} 鹿屋体育大学体育学研究科, ^{*4} 獨協医科大学医学部
- P17 温熱環境に対する体温調節反応の個人差についての研究
青沼弦^{*1}, 石橋駿^{*1}, 前田享史^{*2}
^{*1} 九州大学大学院芸術工学府, ^{*2} 九州大学大学院芸術工学研究院
- P18 日本人若年女性における肥満関連遺伝子型が安静時代謝量及び食事誘発性体熱産生に及ぼす影響
米浪直子^{*1}, 山川佳那子^{*1}, 作田万奈^{*1}, 夏川晶羽^{*1}, 町田陽^{*1}, 藤川陽香^{*1}, 南井希穂^{*1}, 山崎圭世子^{*1}
^{*1} 京都女子大学 家政学部 食物栄養学科 応用栄養学研究室
- P19 日常の入浴習慣が入浴中の体温調節反応の個人差に与える影響
中林暉裕^{*1}, 曾我浩二^{*2}, 河野陽介^{*3}, 三浦凜風^{*1}, 伊藤貴士^{*2}, 西村貴孝^{*4}
^{*1} 九州大学芸術工学部, ^{*2} リンナイ株式会社開発本部, ^{*3} 九州大学大学院芸術工学府, ^{*4} 九州大学大学院芸術工学研究院
- P20 標準化された情動刺激使用による顔面皮膚温の変化
中山友月^{*1}, 堀悦郎^{*2}
^{*1} 富山大学医学薬学教育部, ^{*2} 富山大学学術研究部医学系行動科学
- P21 周囲環境条件及び活動記録のための複製容易な多目的複合センサの開発
高倉潤也^{*1}
^{*1} 国立環境研究所 社会システム領域

- P22 口腔内への炭酸感および香りによる脳活動
伊藤兼敏^{*1}, 大森憲^{*1}, 西澤陽一郎^{*1}, 王力群^{*2}, 栗城真也^{*2}
^{*1}高砂香料工業株式会社, ^{*2}東京電機大学
- P23 Snoezelen 環境における嗅覚刺激と視覚刺激との関連性
橋本翠^{*1}, 川端翔太^{*1}, 金澤寛^{*2}
^{*1}吉備国際大学大学院心理学研究科, ^{*2}広島文化学園大学看護学部看護学科
- P24 お辞儀が印象形成に及ぼす影響の文化差：東洋文化圏内での比較
大杉尚之^{*1}, 河原純一郎^{*2}
^{*1}山形大学人文社会科学部, ^{*2}北海道大学文学部
- P25 他者および自身の手掌接触による運動学習への影響の比較
漆原良^{*1}
^{*1}立命館大学産業社会学部
- P26 運動後回復期の音楽聴取による生理的指標の変化
西村宗修^{*1}, 浅川泳伸^{*2}, 渡邊紳一^{*1}, 伊藤康宏^{*3}
^{*1}神奈川工科大学健康医療科学部臨床工学科, ^{*2}千葉県済生会習志野病院臨床工学科, ^{*3}四日市看護医療大学臨床検査学科
- P27 テンポの聴覚提示と視覚提示が胸骨圧迫の正確性に与える影響
谷浩明^{*1}, 鈴木健介^{*2}
^{*1}国際医療福祉大学保健医療学部理学療法学科, ^{*2}国際医療福祉大学病院リハビリテーション科
- P28 朝型・夜型と月経前の肌状態との関係
高峰詩由^{*1}, 初治沙矢香^{*2}, 西川恵美^{*3}, 若村智子^{*2}
^{*1}京都大学医学部人間健康科学科, ^{*2}京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻, ^{*3}株式会社セブテム総研
- P29 若年女性における生活スタイルと月経前症状の程度との関係
古林まひろ^{*1}, 初治沙矢香^{*2}, 笹井佐和子^{*2}, 若村智子^{*2}
^{*1}京都大学医学部人間健康科学科, ^{*2}京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻
- P30 交代制勤務者の月経前症状と生活スタイルに関する比較研究
初治沙矢香^{*1,2}, 笹井佐和子^{*1}, 若村智子^{*1}
^{*1}京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻, ^{*2}日本学術振興会特別研究員 (DC1)
- P31 短波長光の Duty 比の違いが眼精疲労と視覚的快適性に与える影響
宮崎泰成^{*1}, 李スミン^{*2}, 若林斉^{*3}, 李相逸^{*3}
^{*1}北海道大学工学院空間性能システム専攻 環境人間工学研究室, ^{*2}千葉大学環境健康フィールド科

学センター, *3北海道大学大学院工学研究院 環境人間工学研空室

- P32 スマートフォン使用時の照明環境及び視聴内容の違いが睡眠に与える影響
福田裕美*1, 石橋渚*1
*1北九州市立大学国際環境工学部
- P33 小児の第一夜効果のマクロ・ミクロ睡眠構造における検討
榎本みのり*1,2, 江藤太亮*2,3, 北村真吾*2
*1 東京工科大学医療保健学部臨床検査学科, *2 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部, *3 独立行政法人 日本学術振興会特別研究員 PD
- P34 幼児の夕食前後のおやつ、及び夕食の摂取量と幼児、及び保護者の睡眠習慣の関係
竹内日登美*1, 川俣美砂子*2, 井成真由子*3, 田中秀吉*4, 中出美代*3
*1 高知大学教育学部, *2 中村学園大学短期大学部 幼児保育学科, *3 東海学園大学健康栄養学部, *4 修文大学健康栄養学部
- P35 恒常条件下における主観的・客観的眠気の乖離の時間変化
江藤太亮*1,2, 岡部聡美*1,2, 北村真吾*1
*1 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部, *2 日本学術振興会特別研究員 PD
- P36 就寝前の心身の状態は夢に、夢は起床後の心身の状態に影響する
岡部聡美*1,2, 山田一夫*3, 望月寛子*4, 福田能久*5, 阿部高志*6, 林光緒*7, 福田一彦*5
*1 国立精神・神経医療研究センター 睡眠・覚醒障害研究部, *2 日本学術振興会特別研究員 PD, *3 筑波大学人間系, *4 農研機構, *5 江戸川大学社会学部, *6 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構, *7 広島大学大学院人間社会科学研究科
- P37 入浴による体温変化が睡眠に及ぼす影響
前田享史*1, 古賀弘子*2, 野中隆*2, 樋口重和*1
*1 九州大学大学院芸術工学研究院, *2 株式会社ノーリツ

懇親会

18:00~20:30

マンマミーア (福岡市早良区百道浜2丁目 902-1 マリゾンB 棟 1F)

大会2日目 6月18日(日)

口演セッション3

9:20~10:08

大会議室

座長: 福田 裕美 (北九州市立大学)

O3-1 瞳孔径の変化を指標にした心的努力の評価

高雄元晴^{*1}, 原寄喬矢^{*1}, 柏木智貴^{*1}, 末廣俊介^{*1}, 川島浄子^{*1}

^{*1} 東海大学情報理工学部

O3-2 メラノプシン網膜神経節細胞への刺激量のみが異なる同一の色温度照明が定常瞳孔反応に及ぼす影響 - silent substitution 法を用いて -

今泉一輝^{*1}, 大橋路弘^{*2}, 辻村誠一^{*3}, 樋口重和^{*4}

^{*1}九州大学大学院 芸術工学府, ^{*2}九州大学大学院統合新領域学府, ^{*3}名古屋市立大学芸術工学研究科, ^{*4}九州大学大学院芸術工学研究院

O3-3 暗順応の実験方法に関する研究

山崎和彦^{*1}, 那須ゆうみ^{*1}, 村越あいり^{*1}

^{*1} 実践女子大学生生活科学部生理人類学研究室

O3-4 青色光がワーキングメモリのサブプロセスに与える影響-脳磁図による検証-

金京室^{*1}, 大西颯^{*2}, 李相逸^{*3}, 横澤宏一^{*2}

^{*1}北海道文教大学医療保険科学部, ^{*2}北海道大学大学院保健科学研究院, ^{*3}北海道大学大学院工学研究院

口演セッション4

10:23~11:11

大会議室

座長: 跡見 友章 (杏林大学)

O4-1 早産で生まれた乳幼児は昼間の多動性と夜間睡眠障害をもつ

太田英伸^{*1}, 安積陽子^{*2}, 三谷裕介^{*3}, 中澤貴代^{*4}, 福富理佳^{*5}, 小林京子^{*5}, 熊谷真愉子^{*6}, 篠原ひとみ^{*7}, 吉田倫子^{*8}, 安藤明子^{*4}, 吉村優子^{*9}, 中川真智子^{*10}, 大石芳久^{*11}, 水島正人^{*12}, 安達裕行^{*13}, 兼次洋介^{*4}, 森岡圭太^{*4}, 瀬戸康貴^{*4}, 島袋林秀^{*14}, 平田倫生^{*15}, 池田尊司^{*9}, 小澤美和^{*10}, 竹島正浩^{*16}, 真部淳^{*15}, 高橋勉^{*13}, 三島和夫^{*16}, 菊知充^{*9}, 與田仁志^{*12}, 草川功^{*10}, 長和俊^{*4}

^{*1}秋田大学大学院 医学系研究科 作業療法学講座, ^{*2}三重大学大学院 医学系研究科 看護学専攻, ^{*3}金沢大学附属病院 小児科, ^{*4}北海道大学病院 小児科, ^{*5}聖路加国際大学 大学院看護学研究科, ^{*6}秋田大学大学院 医学系研究科 看護学講座, ^{*7}兵庫大学 看護学研究科, ^{*8}市立札幌病院 小児科, ^{*9}金沢大学 子どものこころの発達研究センター, ^{*10}聖路加国際病院 小児科, ^{*11}日本赤十字社医療センター 小児科, ^{*12}市立札幌病院 小児科, ^{*13}秋田大学医学部附属病院 小児科, ^{*14}国立成育医療研究センター 総合診療部 総合診療科, ^{*15}日本女子大学 家政学部 児童学科, ^{*16}秋田大学医学部附属病院 精神科

O4-2 胎児と母間の相互情報量の解析による情動交流の特質

石山さゆり*1, 田原孝*2, 岩永浩明*2, 大橋一友*3

*1 日本赤十字九州国際看護大学, *2 医療・福祉基盤研究所, *3 大手前大学国際看護学部

O4-3 高身長発育におけるトラッキングパターンモデルの検証

武山祐樹*1, 藤井勝紀*1, 田中望*2, 可兒勇樹*3, 糟谷浩輔*4

*1 愛知工業大学経営学部, *2 東海学園大学スポーツ健康科学部, *3 大阪成蹊大学教育学部, *4 菊武ビジネス専門学

O4-4 エラスティックバンドを利用したペダリングアシストツールの検討

山口理生*1, 杉山康司*2

*1 静岡大学人文社会科学研究科, *2 静岡大学グローバル共創科学

学会各賞授賞式

11:15~11:50

大会議室

昼休憩

11:50~13:00

口演セッション5

13:00~13:48

大会議室

座長：富田 義人（東京保健医療専門職大学）

O5-1 隆起サンゴ礁の島に住む高齢女性の骨量について

西村千尋*1,3, 安西耕*1,4, 積山好恵*2, 川畑早紀*2, 吉田幸子*2, 岡田史子*2

*1 喜界島サンゴ礁科学研究所 健康長寿リサーチセンター, *2 歩健学研究室, 元長崎県立大学, *3 東京都立多摩総合医療センター, *4 喜界町保健福祉課包括・保健チーム

O5-2 片脚立ち上がり動作における大内転筋および大腿直筋の筋活動

豊田聖理*1, 杉山康司*2

*1 静岡大学大学院人文社会科学研究科, *2 静岡大学グローバル共創科学部

O5-3 機械学習を用いた転倒予防の介入判定モデルの検討

横山詔常*1, 小玉龍*1, 長谷川正哉*2

*1 広島県立総合技術研究所, *2 県立広島大学健康福祉学部

O5-4 体表面組織が重力環境に物理的に適応する機構の解明 -人工知能(AI)による皮膚動態のデジタル的解析技術の確立-

江連智暢*1, 松崎 恭一*2, 大野 伸彦*3,4

*1 株式会社資生堂みらい開発研究所, *2 国際医療福祉大学医学部形成外科学, *3 自治医科大学医学部解剖学講座, *4 生理学研究所超微形態研究部門

座長：安河内朗（日本生理人類学会会長・九州大学）

テーマ「ストレスを考える」

- | | | |
|------|------------------------|------------------------|
| S2-1 | 石橋 圭太（日本生理人類学会・千葉大学） | 重力ストレスを考える |
| S2-2 | 澤田 純明（日本人類学会・新潟医療福祉大学） | ストレスマーカーから探る古代の人々の健康状態 |
| S2-3 | 北中 淳子（日本文化人類学会・慶應義塾大学） | ストレスの歴史と文化：医療人類学的視点から |
| S2-4 | 宮内 貴久（日本民俗学会・お茶の水女子大学） | 葬儀の簡素化からみた人付き合い |
| S2-5 | 藤田 志歩（日本霊長類学会・鹿児島大学） | 野生霊長類のストレスを測る |